

はじめに

学校には、みなさんの命を守るためのたくさんの防災設備があります。防災備蓄倉庫やさすまたなどは、先生や消防署・警察署の人たちがいつでも使えるように点検や訓練を重ねています。けれども、地震や水害はいつ起こるかわかりません。学校に不審者が来る可能性もあります。そのため、災害や事件が起きたときに備えて「自分はどう行動すればいいか」を知っていることがとても大切です。たとえば、非常通報装置の役割は何か、AEDはどう使うのかなどを知っていれば、落ち着いて行動できるはずです。この本では、さまざまな防災設備とその働きについて紹介していきます。学校にある防災設備の知識を身に付けることで、自分や友だちの命を守るための力を付けていきましょう。

危機管理教育研究所代表 国崎信江



もくじ

- 防犯カメラ 4
- さすまた 6
- 110番非常通報装置 10
- エーディー・AED 12
- 防災備蓄倉庫 16
- 非常用浄水装置 20
- 太陽光発電システム 22
- 災害時用特設公衆電話 24
- 止水板 26
- カセットコンロ 28
- さまざまな防犯用具 30
- さくいん 32

この本の使い方

この本は、学校にある防災設備について、役割や設置場所、使い方などを説明しています。

役割

設備のおおまかな役割を説明しています。

各部分の名前

設備の部分ごとの名前と役割を説明しています。

〇〇のある場所

設備が学校の中のどこにあるかを説明しています。

〇〇の使い方

設備の使い方の流れを紹介しています。



気をつけよう

設備を使うにあたって、注意しなければならないことを紹介しています。

町でも探してみよう

設備が、学校以外のどんな場所にあるかを紹介しています。

QRコードから関連動画集のページを見ることができます。

※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
※QRコードのリンク先の内容は、削除されたり、変更されたりする場合があります。
※動画は本を買った人も借りた人も見ることができます。

〇〇さんのお話

設備の点検や管理、訓練などに関わっている人の話です。





さすまた



やくわり
役割

ふしんしゃ
みまも
不審者から身を守る

さすまたは、日本にほんで昔むかしから使つかわれている防犯用具ぼうはんようぐで、不審者ふしんしゃが動うごけないように取りおさえ、警察けいさつが来るまでの時間じかんをかせぐためのものです。

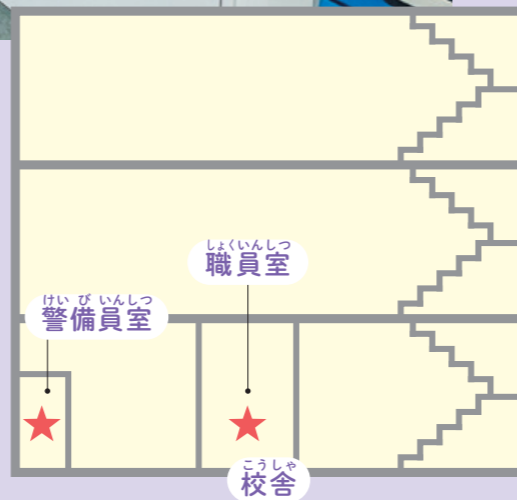


警備員室けいびいんしつに立てかけてあるさすまた。

さすまたのある場所

警備員室けいびいんしつ、職員室しよくいんしつなど

さすまたは、外そとから入はいってきた不審者ふしんしゃに対しておとなが使うものなので、警備員室けいびいんしつや職員室しよくいんしつに置おかれています。
おおい



各部分の名前



U字形の金具

U字の形ユーじのかたちをしているのは、相手あいての体からだをおさえるため。両端りょうたんの先さきはゴムごむでできていて、すべり止とどめになっている。

柄

2~3メートルあいだの間でのび縮ちぢみさせることができる。不審者ふしんしゃに近ちかづくずに相手あい手の動うごきを止とどめることができる。



どのくらいの重さがあるの？

さすまたの重おもさは、軽かるいもので約1キログラム、一般いっぱんてき的には2キログラムくらいです。力ちからが弱よわい人ひとでも使つかえるよう、軽かるいアルミそざい素材そざいでできています。



消防署の地図記号は「さすまた」の形

江戸時代えどじだい、さすまたは火災かさいのときに周まわりに火ひが燃もえ広ひろがらないよう、家いえをこわす道具どうぐとしても使つかわれていました。そのため、消防署しょうぼうしょを表あらわす地図記号ちずきごうは、さすまたかたちの形です。



🔧 さすまたの使い方



Step1 さすまたをにぎり、相手に向ける
 さすまたの柄を両手でにぎり、自分の腰に付けます。U字形の金具の部分を相手に向けます。相手につかまれないように、金具の部分を縦にして構えます。



Step2 相手の体をおさえこむ
 金具の部分で相手の体をおさえます。おさえる部分は、肩から胸にかけて、胴、足などです。複数人でさすまたを使って、体をおさえます。



Step3 かべぎわに追いつめる
 かべが近くにあった場合には、相手をかべぎわに追いつめて、さすまたを相手の足にかけてたおします。複数人で相手の体をおさえて動けないようにし、警察が来るのを待ちます。

① 気をつけよう



1対1で向かい合ってはダメ
 さすまたは、あくまでも一時的に相手の動きを止めるものです。1人では相手をおさえきれないので、必ず複数人で対応するようにしましょう。



訓練をしないと使えない
 さすまたは、正しく使わないとケガをすることがあります。いざというときに使えるよう、日ごろから使い方の訓練をしておく必要があります。

👤 さすまたを作っている会社の佐野さんのお話



佐野 丈兎さん

さすまたは正しく使うことができればたのしい防犯用具ですが、不審者に奪われてしまうこともあるため、距離を十分とりながら使い、かべやゆかに相手をおしつける力や技術が必要になります。わたしたちは年齢・性別にかかわらず使いやすい、小型のさすまたも開発しています(→31ページ)。学校にも採用されているので、防犯訓練のサポートも行っています。

有限会社佐野機工の代表取締役社長。防犯用具や生活用品の開発、製造に取り組んでいる。

さすまた